

アビタス通信

A b i t u s P r e s s

20

vol.

September 2011

Abitus

LL.M.&Bar Exam

これからの法務部門は、「資格力+英語力」! 活躍の場が広がる米国弁護士

アビタス
米国弁護士コース担当
坂本 勝



企業のグローバル展開に伴い、 増加する法務トラブル

企業活動が国境に制限される時代は、完全に過去のものとなりました。資源や労働力、市場を求めて海外に進出している企業は、枚挙に暇がありません。また、少子高齢化によって国内市場の縮小が懸念される日本国内の企業は、海外展開を余儀なくされています。しかし、海外展開は、企業にとってメリットばかりではないようです。

実際、海外に進出した日本企業の多くは、法務面でのトラブルに直面しています。

例えば、中国に進出した大手自動車メーカーは、従業員との労働条件の調整に失敗し、大規模なストライキに遭遇しました。また、欧州では、変電所設備に関する価格カルテルを理由に、日本企業を含む11社に、総額7億5千万ユーロの支払いが命じられています。さらに、知的財産分野において、米国を中心に、自らは製品やサービスを提供していないいわゆる「パテントトロール」という企業群が、死蔵特許権などを比較的安価に取得して、日本企業などから多額の特許使用料を請求するという事例も見られます。

このような法務トラブルについては、海外進出企業の、実に約70%以上が遭遇しているとされているのです(2010年12月14日付日経新聞「海外進出企業の7割、現地で知財など法務トラブル 訴訟・紛争、米中で多く」参照)。

日本企業vs.外国企業。 法務部門の体制強化への 認識は……

法務リスクに対し、日本企業はどのように認識しているのでしょうか。多くの場合、法務部門はコストセンターと認識され、体制の充実に向けたインセンティブが働きにくいと解されているのではないかと思います。しかし、法務トラブルは、巨額の金銭が動くのみならず、企業のブランドイメージの深刻な低下をもたらすことにつながりかねません。

専門性の強化も課題です。ゼネラリストが志向される大企業の人事システムでは、法務スタッフも数年で他部署に異動するケースが少なくありません。ゼネラリスト的な視点が完全に不要とまでは言い切れませんが、ますます専門性が高まる法務リスクに対しては、まだまだ認識が足りないと言ってよいのではないのでしょうか。

これに対し、海外の企業は、法務リスクに対して敏感です。法務部門に約1000人が在籍し、そのうち半数が弁護士資格を保有しているという、米マイクロソフト社の例は極端としても、外資系企業を中心に、インハウスローヤー(企業内弁護士)の登用が進んでいます。現在、法務部門の責任者になるには弁護士資格が必須とされている企業も、少なくありません。

もちろん、弁護士が企業に在籍しさえすればよいわけではありません。しかし、専門知識の持ち主として、そして法的な専門教育を受けてきた証として、弁護士資格

保有者を企業に揃えることは、法務部門の強さを物語る有力な指標と言えるでしょう。

グローバル法務に必要な、資格と英語力

日本企業では従来、法務面での交渉において、資格よりも実務経験がものをいってきたと思います。しかし、法務に関する業務がグローバル化するにつれ、「資格」という側面がクローズアップされざるを得ないでしょう。なぜなら、実務経験というのは非常に「見える化」が難しいものだからです。

特に外国人相手の交渉等において、日本の実務経験が何年あるといっても、それを的確に理解できるように説明することは困難です。一方、「弁護士資格」は、それだけで、一定水準の法律知識や法的思考能力を備えているとみなされるツールです。同じ知識と経験を持っている人が二人いて、片方が「弁護士」、もう片方が「資格無し」ということになると、「弁護士」の意見、発言の方に説得力があると感じるのは、自然な感情だと思います。また、弁護士資格に加えて、英語力も重要です。外国人との交渉においてはもちろん、海外の先進的な事例を調査、分析するためにも、英語で法律を理解し、発信できる能力が求められています。

資格として、やはり日本の司法試験を考えられる方が多いでしょう。しかし、企業法務で活躍するためだけには、これから日本の司法試験を目指すことは、遠回りです。

法科大学院をはじめとする日本の法学教育では、司法試験合格が最大の目標であり、英語力やビジネスセンスを鍛えるカリキュラムになっていません。また、受験回

数の制限など、旧試験に比べれば合格しやすくなったとはいえ、まだまだ狭き門であるのが現状です。

そこで、米国弁護士資格という選択肢が考えられるわけです。

働きながら目指せる、米国弁護士資格

米国弁護士資格は、試験の合格率が約 50%（カリフォルニア州）。日本の大学で一定の法学学位などをお持ちの方は、約 1 年程度、ABA（全米法曹協会）認可のロースクールで LL.M.（法学修士）プログラムを履修すれば、受験条件を満たし、Bar Exam（司法試験）を受けることができます。

アビタスでは、米国 ABA 認可のロースクール、FCSL（フロリダ・コースタル・スクール・オブ・ロー）と提携し、日本国内で、オンラインで視聴できる LL.M. プログラムと、日本人講師が日本語で講義をする Bar Exam 対策を併設した「米国弁護士コース」を、2010 年 8 月より開講しております。留学不要で、働きながら米国弁護士資格を目指すことができます。

経済のグローバル化は、今後とどまることはありません。「米国弁護士コース」を活用して、法務部門でのキャリアアップにお役立ていただきたいと思います。

アビタスでは、「米国弁護士コース」の他にも、法務部門の方々のお役に立つ講座を、今後、企画・運営してまいります。ご期待ください。

さかもと・まさる／中央大学大学院法学研究科修士課程修了後、警察庁入庁。刑事局刑事企画課、内閣官房主査、交通局交通規制課勤務を経て退職。2008 年より株式会社アビタスに入社し、米国弁護士コースをはじめとしたビジネスパーソン向けの講座案内に従事。



留学不要、日本初。

米国弁護士資格で、グローバルキャリアにチャレンジ！

Abitus

米国弁護士コース

最短約 1 年の学習期間で、カリフォルニア州の Bar Exam(司法試験)合格を目指す！

コースの概要や試験制度がわかる！

米国弁護士 セミナー

参加無料・要予約

八重洲校	9/16 (金) 19:00 ~ 20:30
大阪校	9/20 (火) 19:00 ~ 20:30
新宿本校	9/25 (日) 11:00 ~ 12:30

アビタス通信（本号）に登場した坂本が講座をご案内いたします

講義や教材のクオリティを体験できる！

米国弁護士 授業見学会

参加無料・要予約

新宿本校	9/23 (金・祝) 14:00 ~ 16:30
大阪校	※大阪校は同時中継

講師：清原 博弁護士（むさし国際法律事務所所長・カリフォルニア州弁護士）
講義内容：『契約・売買』 ※講義は日本語で行われます

お申込み・ご質問は Web (<http://www.abitus.co.jp>) ・メール (bar@abitus.co.jp) にて

その他 公開セミナー、イベント、研修・講座も企画しております。
研修・講座にご興味のある法人のお客様は、個別にお問合せください。（法人統括グループ tel.03-3299-3130）

IFRS導入とこれから求められる人財の姿(後編)

「話し、考え、行動できる。自律的に成長できる。
それが普遍の人財像です」

三菱マテリアル株式会社
経理・財務部門 経理室 室長
佐々木 晋氏



課題解決能力と自律的成長

——これからのグローバル人材に求められるものは？

佐々木 コミュニケーションができて、自分で考え、行動できる人財が、国内外問わず求められています。海外では固有のビジネス習慣や宗教を理解することが大事です。語学は大切なツールですが、経理財務で言えば、英語はあまりできなくても、IFRSの条文を英語で読んで海外子会社に指導できる人財が必要だと思います。経理で求められる素養としては、実務能力は当然必要ですが、変化への対応策を見つけ出せる人財が必要だと思います。問題点の指摘ができる人はたくさんいます。しかし、求められているのは、「どうすればできるのか」を前向きに考えて実行できる人財です。会社の仕事は自分一人ではできません。仲間や協力者を増やしてチームとして対応していける人が、ますます必要とされるのではないのでしょうか。英語やシステムといったツールを若干でもマスターしていれば、自信になります。そうすれば、ポジティブな発想に結びつく可能性はあります。自信がないから「できない」と思ってしまう場合がありますから。

経理・財務で求める人財としては、実務能力・事務処理能力に優れ、変化に対応できる経理財務のプロフェッショナル。そのための能力要件は、自己研鑽して自分自身で自律的成長ができること。すなわちPDCAのサイクルで自分自身の能力を高めていける人財です。これは、どんな時代にあっても普遍的な人財像だと思っています。

自分で考える力を身につける

——経理財務部門の教育はどうされていますか？

佐々木 OJTと本社集合教育が基本です。そこで、経理の知識を積み上げていくことができます。会計知識だけでなく、事業の特性や工場や各社の会計処理の仕組みなどを知ることも大事です。そうした基盤の上で対応策も導き出せるのではないのでしょうか。すべてに通じていなくても、自分で問題点を見出し解決していける人であれば、

グローバルに進展していく中で、「足りないスキルは何か」が自分でわかってくるはずです。そこから、自分で勉強しようという気持ちになるのだと思います。アビタスさんのIFRSの講座なども受けさせていただいて大変ためになりました。IFRS検定もグループ各社に推奨しています。また、経理業務をグローバルに標準化するために、会計ソフトのグローバル統一をシステム対応チームが進めています。会計のプロセスが統一され、業務が標準化され、プラットフォームが統一されるとことで、人財が国境を越えて流動化できるようになればと思っています。

入社半年後、新入社員と話すとき「マニュアルが整備されていません」という言葉をしばしば耳にします。マニュアルはあっても、業務の変化が激しく追いついていないのが現実です。自分で何も考えなくてもマニュアルに従って仕事をすれば処理できるという発想では、「自分の頭で考える」IFRS時代には通用しません。「後は自分で考えなさい」というのは教育でもあります。わざと全部教えず、報告・連絡・相談のコミュニケーションスキルを身につけさせようとする場合もあります。

——アビタスの紹介で採用された人財はどのあたりを評価されましたか？

佐々木 一つは連結決算のチームを増強しなくてはならないので、連結決算の実務ができる人を中心に紹介していただきました。今後の伸びしろや英語で海外の子会社とやりとりをした経験があるといった部分も採用では見えています。自分で考えて、自分で行動するといった能力は、スキルリストには当てはまらないし、面接ではわかりません。ですから、実際の会計の経験や英語のスキル、IFRSの知識などで選定するのが通常です。チームで仕事をするので、社風に合うかどうかでも大事ですね。期待に応えてよくやっています。

——御社のカルチャーに惹かれたという面接者の声をたくさん聞きました。本日はありがとうございました。

会計人材の正社員・派遣社員のご紹介はアビタスキャリアセンターまで！

アビタスキャリアセンターへのお問合せ [mail career@abitus.co.jp](mailto:career@abitus.co.jp) ☎ 03-3299-3666 <http://www.abitus.co.jp/career/>

公開講座・イベントスケジュール

下記以外にも各種講座・イベントを開催しています。最新の情報はアビタスWebサイトをご覧ください。

9/4(日) 検 定 第8回IFRS検定(国際会計基準検定)

■会場：東京、大阪 ■お問合せ：IFRS コンソーシアム事務局 info@ifrs-kentei.com

9/7(水)14:00～17:00 講 座 IFRS対応退職給付会計講座「基本編①」

■会場：アビタス八重洲校 ■お問合せ：法人統括グループ 03-3299-3130 (中村)

9/13(火)13:25～18:10 イ ベ ント IFRS CONSORTIUM 2011 sep ※コンソーシアム会員無料

■会場：ベルサール九段 ■お問合せ：IFRS コンソーシアム事務局 03-3299-3221 info@ifrs.ne.jp

9/14(水)10:00～13:00 講 座 IFRS対応退職給付会計講座「基本編②」

■会場：アビタス八重洲校 ■お問合せ：法人統括グループ 03-3299-3130 (中村)

9/14(水)14:00～17:00 講 座 IFRS対応退職給付会計講座「基本編③」

■会場：アビタス八重洲校 ■お問合せ：法人統括グループ 03-3299-3130 (中村)

9/21(水)10:00～13:00 講 座 IFRS対応退職給付会計講座「応用編①」

■会場：アビタス八重洲校 ■お問合せ：法人統括グループ 03-3299-3130 (中村)

9/21(水)14:00～17:00 講 座 IFRS対応退職給付会計講座「応用編②」

■会場：アビタス八重洲校 ■お問合せ：法人統括グループ 03-3299-3130 (中村)

9/21(水)15:00～17:30 セ ミ ナ ー セキュリティソリューションセミナー

今のセキュリティ機能で、防御対策が来ているのか！？次世代型ファイアウォールによるセキュリティ対策をご案内します。

■会場：アビタス新宿本校 ■お問合せ：法人統括グループ 03-3299-3130 (中村)

9/24(土)10:00～16:00 講 座 9月期 DiplIFR (IFRSディプロマ)コース 開講

■会場：アビタス新宿本校 ■お問い合わせ：ラーニングセンター 03-3299-3330

12/4(日) 検 定 第9回IFRS検定(国際会計基準検定)

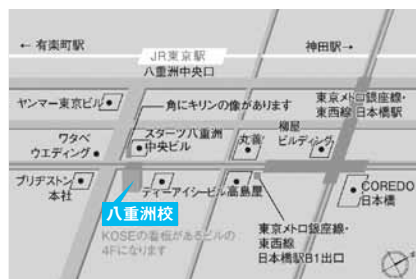
10月下旬より受験申込受付を開始の予定です。

■会場：東京、大阪 ■お問合せ：IFRS コンソーシアム事務局 検定係 info@ifrs-kentei.com

新宿本校



八重洲校



大阪校



IFRS CONSORTIUM 2011 sep 開催!



グローバル時代の経営管理
——日本企業がIFRSとどう向き合うか

2011年9月13日(火)

13:25～18:10 at ベルサール九段

申込
受付中

詳細・お申し込みはIFRSコンソーシアムHPから
→ <http://www.ifrs.ne.jp/event/110913.php>

お問合せは IFRS コンソーシアム事務局 03-3299-3221



多くの来場者を迎えた前回 (IFRS CONSORTIUM 2011 mar)

アビタス通信 Vol.20 2011年9月30日発行

発行——株式会社アビタス

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー 15F

発行人——三輪豊明

編集担当——広報・笹原

abitus@abitus.co.jp TEL 03-3299-3223

本誌よりの無断転載・訳載を禁ず

アビタス・ネットワーク

【新 宿】〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー 15F
TEL 03-3299-3330 FAX 03-3299-3777

【八重洲】〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 4F
TEL 03-3278-8800 FAX 03-3278-8801

【大 阪】〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-5-2 新サンケイビル 8F
TEL 06-6341-1020 FAX 06-6341-1088